

令和2年度 第1回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和2年7月27日（月）午後3時25分から午後4時40分まで
大洲市役所2階大ホール

2 出席した構成員

大洲市長	二宮隆久
大洲市教育委員会 教育長	東山宏
大洲市教育委員会 教育長職務代理者	西山千春
大洲市教育委員会 委員	山内光郎
大洲市教育委員会 委員	渡邊ひとみ
大洲市教育委員会 委員	吉岡恵一

3 会議に出席した職員

（教育委員会事務局）

教育部長	井上徹
教育総務課長	城戸弘一
教育総務課学校教育指導監	竹本修二
生涯学習課長	林田稔徳
文化スポーツ課長	村上司
学校給食センター所長	山崎重信
教育総務課長補佐	松田圭司

（市長部局）

市民福祉部長	藤田修
子育て支援課長	仲岡貴志

（事務局）

総務企画部長	栗田浩治
企画情報課長	久保明敬
企画情報課長補佐	信尾肇典

4 傍聴者の数

2人

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 令和2年度主要事業の概要と進捗状況
- (2) 大洲市教育大綱の一部修正
- (3) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
二宮市長	3 議事 (1) 令和2年度主要事業の概要と進捗状況 それでは早速、議事に移りたいと思います。括弧1の令和2年度主要事業の概要と進捗状況について、を議題といたします。事務局より説明をお願いします。 [会議資料に基づき説明] 城戸課長、竹本学校教育指導監、林田課長、村上課長、山崎所長、仲岡課長
二宮市長	それでは、質疑、意見交換に移りたいと思います。 まず、1 GAGA スクール構想の実現に向けた環境整備について、何かが意見、ご質問はございませんか。
西山委員	きっかけがコロナであったことは本当に残念なのですけれども、こういう風に話が前向きになることを、良い方向に捉えて、どんどんIT化が進んでいって、子どもたちの居住にかかわらず、本当に平等に教育が受けられるようになっていくことを、心から望んでいます。よろしくお願いいたします。
城戸課長	市長もよくおっしゃいますが、ピンチをチャンスととらえて、この機会にしっかりと動くシステムを構築したいと考えております。企画情報課のほうにも継続して相談させてもらいながら、進めていきたいと思っております。
二宮市長	ありがとうございます。他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。
山内委員	インターネットの環境ですけれども、ネット環境の無い子どもが勉強するにあたって、公民館等でありますが、これは公民館が閉まっている時とか時間外とか、使えない場合はどういう風に考えておられるのかお聞かせください。
城戸課長	今のところ児童生徒の調査をしますと、約4割の子どもたちの家庭にインターネットの環境がありません。学校が休校となった場合、家庭にインターネットの環境がある子どもはパソコンを持ち帰らせて家庭学習が可能ですが、4割の子どもはインターネットが使えない状況です。誰一人取り残さないという観点で申しますと、それを保障するために、近くの公民館か学校で補習ができるような、家庭学習に代わることができるシステムを構築したいと考えております。ご自宅から公民館が近い子どもは公民館で、日中の時間帯で先生とのやり取りを考えていますので、可能な範囲で、時間を決めて出来るようにしたいと思っています。公民館よりも小学生で中学校が近い、あるいは中学生で小学校が近いという場合も、近い場所という補完的な方法で出来るように考えておりますので、そのような構築をしたいと考えております。
二宮市長	よろしいでしょうか。他にございませんか。
吉岡委員	まず1点質問なのですが、Wi-FiとLANの整備というのは、学校の

	中、特定の教室だけではなく、学校のどこにいても繋がる環境であるのでしょうか。
城戸課長	学校の中では、全ての普通教室と特別教室でWi-Fiが使えるように校内LANを整備しますが、屋内運動場については使える環境はありません。
吉岡委員	それともう1点、このようなGIGAスクール構想に向けて取り組まれるというのは素晴らしいことだと思うんですけども、こういったシステムが学校に入ったときに、いきなり全ての先生方が教えることができるかと言えば、なかなか先生方も大変だと思うのですが、このシステムを導入するにあたって、ICTの支援員といった先生を配置するような計画はないでしょうか。
城戸課長	情報教育の関係で言いますと、学校情報教育推進協議会という組織をつくっておりまして、学校の代表の方、事務の代表の方、教育総務課の職員で組織し、そういった対応については協議をしております。まず学校の核となるようなリーダーをつくって、リーダーから全ての教職員に操作方法を含めて研修していただく考えで進めております。ICTの支援員につきましては、前に議会でも答弁させていただいたのですが、もしそういう人材がありましたら、4校に1人が望ましいという基準が国にはありますので、教育委員会としては来年度当初予算で予算要求したいと考えております。
吉岡委員	分かりました。是非先ほど市長さんも言われましたが、ハード面で着々とした整備が整いつつあるので、ソフト面でこういった利用をしっかりとできるようにお願いできたらと思います。よろしくお願いします。
二宮市長	竹本指導監、よろしくお願いします。
竹本指導監	はい。分かりました。
二宮市長	他にございませんか。ないようですので、次の議題に進みます。 生涯学習課のほうから、2 放課後児童クラブの充実と推進という説明をいただいております。この件について、ご意見、ご質問があればお受けしたいと思います。
西山委員	大洲児童クラブとか喜多児童クラブとかにおいて、人数が多くなることによってクラブ①、②に分かれておりますが、この編成とかは地域別にするのか、学年で分けるのか、どのようにするご予定なのでしょう。
林田課長	今、予定ではあるんですけども、できるだけ年齢の近い、1年生から3年生までとか、高学年の4・5・6年生とかいう形で分けていければとは思っています。
二宮市長	よろしいですか。今は希望される児童は、放課後児童クラブにお世話になれる環境にあるのでしょうか。いわゆる待機児童はないのでしょうか。
林田課長	現在の大洲児童クラブについては、待機児童は2人です。実際は定員が45人ところを面積が足りているということで、51人は定員オーバーでも入れています。また実際高学年になってくると、入りたい方があっても

	いっぱいなのでお断りをしているところがありますので、今回改修によりまして、定員を増やせば、この方たちは入会していただけるとは思っています。
二宮市長	今のままでは6年生までは受け入れられる環境には規模が無いということですかね。
林田課長	今のところ、大洲児童クラブについては、4年生、5年生についても4人、5人ずつは入会されているんですけれども、6年生は0になっていますし、喜多児童クラブについては3年生までの入会で、4・5・6年生は0となっておりますので、特に喜多児童クラブについてはお断りをしている人数が多くなっていると思います。
二宮市長	この計画でいけば、ほぼ受け入れられるとうことでしょうか。
林田課長	今回の計画で、大洲児童クラブについては十分まかなえると思いますし、喜多児童クラブにつきましても、20人、30人は増えていきますので、ある程度の受け入れが可能になってくるかと思っております。
二宮市長	よろしくお願いします。他にご意見ご質問ありませんでしょうか。放課後児童クラブにつきましては、子育て支援を進めていくうえで、必ず必要になってくると思います。是非とも計画に沿って、前向きに進めていただきたらと思います。それでは他に無いようでしたら、次に進めさせていただきます。 協議事項の3 スポーツ推進計画に沿った「健康寿命延伸プロジェクト」連携・協力・推進事業について、文化スポーツ課の方から説明がありました。この件について、ご意見、ご質問いただけたらと思います。
西山委員	この100歳体操、私もケーブルテレビで拝見いたしました。職員の方がなさっておりまして、無理のない誰にでも出来るというか、ゆったりとした動きで高齢の方にも十分こなせる体操だと思いました。機会がありましたら、二宮市長さんにも一緒に模範演技をできるような機会があったら、市民の方も大変喜ばれるのではないかと考えて、職員の方の体操を拝見いたしました。是非よろしくお願いします。
二宮市長	私も100歳まで元気にといい、自転車漕ぎと筋トレに励んでおります。また100歳体操のほうも、是非やってみたいと思います。 豊茂公民館と櫛生公民館で実践をいただいたということですが、受講生の反応はどうでしょうか。
村上課長	豊茂の方は、再度もう一回体験教室をやりたいようなお話をいただいております。櫛生の方は1週間前に終わったばかりですので、まだ連絡は入っていないんですけれども、1か所でも感触良く経験していただいておりますので、今後も普及に努めていきたいと考えております。
二宮市長	ありがとうございます。他にご意見ございませんか。総合体育館のトレーニング教室ですが、器械をおくだけでなく、使い方も指導いただけるようにということで、教育長にお世話になってお願いしておりました。動き出したところでコロナウイルスでちょっと残念だったんですが、多くの方に参加いただけるよう、ステイホームでウェイトにならないように、多くの人に呼び掛けて無事スタートできるようにお願いします。他に無いよう

	でしたら次に進ませていただきます。 4 学校給食費の公会計化に向けた準備ということで、学校給食センターから説明がございました。この件につきまして、ご意見等ありましたらお願いします。
渡邊委員	給食費の公会計化に関する情報をホームページに掲載し保護者へ周知を図るとあるんですが、ホームページというのは大洲市のホームページなのか、各学校のホームページに掲載するのか、またインターネット環境の無いご家庭については、どのような形で情報を、周知を図っていかれるのか、教えてください。
山崎所長	大洲市のホームページに、概要ということで近々あげたいと思っています。それ以外にも、保護者の皆さま宛てに周知の文書をお配りしまして、公会計化になる時に、口座振替制度を取り入れていきますので、それについての依頼等も一緒に行っていきたいと思います。また、広報おおずにも公会計化についての情報を掲載していきたいと思っております。
二宮市長	よろしいですか。他にご意見ありませんでしょうか。無いようでしたら、 5 認定こども園の整備に進ませていただきます。子育て支援課のほうから説明がございました。この件について、ご意見等あればお願いします。 大洲保育所の増設工事、こども園化の方は順調に進んでいますか。
仲岡課長	順調です。
二宮市長	認定こども園の方は、待機児童の心配はないのでしょうか。保育士さんの関係や定数とかで、時期的には出てくる可能性はあるのでしょうか。
仲岡課長	今年の4月1日現在では待機児童は0人です。その後、月ごとにみると待機児童が生じることはありますが、4月1日時点の待機児童はありません。
二宮市長	年度当初は受け入れられる状態であるということですね。他にございませんか。
吉岡委員	これから認定こども園が市内においても、整備されていくということなんですけれども、これから統合される地域であったり、保護者であったり、そういった方々に対する説明を今までされているのか、またこれから名前等も決められると思うんですけれども、地域の方の意見とかはお聞きになられたのか、その予定があるのかお聞かせ願いたいと思います。
仲岡課長	保護者の説明については、先ほどの東大洲こども園なんですけれども、こちらのほうも事前に保護者の方に説明してから、認定こども園に移行ということにしておりました。今年度につきましても、これから保護者の説明を行う予定です。また、こども園の名称は、基本的に場所がわかりやすい、その地名、大字を中心として考えております。
二宮市長	他にございませんでしょうか。それでは6 東大洲こども園の運営について、何かご意見ご質問はございませんか。 東大洲こども園は、今年の4月から運営が始まったのですよね。子どもの様子とか食事の様子とか、4月から4か月が過ぎたわけですが、雰囲気とかはどうですか。

仲岡課長	初めての認定こども園ですので、職員も最初は戸惑っておりまして、新型コロナウイルスの関係で、給食センターが稼働しなかったため、3月に、幼稚園籍の子は自宅から弁当を持ってきていただく対応でしたので、同様に対応しました。一方保育園籍の子どもは、3月には、元々自園調理で対応しておりましたので、それを継続したということでございます。
二宮市長	大洲市では市立としては初めての認定こども園のスタートですので、大変なところもあると思いますが、特に新型コロナウイルス騒動もありましたので、ご苦勞をおかけしますが、これからはこども園がスタンダードになっていくと思いますので、一元化してスムーズに動けるようお願いいたします。他に何かご意見ございませんか。
吉岡委員	東大洲こども園について、今回大洲市で初めてのということですからいろいろと検討されながら、ここまでこぎつけられたということで、ここが一つのモデルとなって、先ほど説明のあった他のこども園についても整備されていくということであるとのことですが、給食の問題について、現在幼稚園籍の子どもについては学校給食センターということで、保育園籍の子どもは自園調理ということで、今後このような形でいかれるということでしょうか。
二宮市長	まだまだ市民の皆様にご理解いただくのは難しい面があったといったところで、基本から説明してもらってよろしいでしょうか。こども園の給食の中身と内容についてお願いします。
仲岡課長	まず幼稚園籍の入所状況をごらんいただきながらですが、3歳以上、3・4・5歳の子どもについては、保育所籍も幼稚園籍も学校給食の提供、3歳未満の0・1・2歳の子どもについては全て自園調理ということにしております。その年齢で、同一教育の提供を掲げておりますけれども、年齢に応じた同一教育ということで、例えば3歳の子どもでしたら、保育所籍も幼稚園籍も教育時間という時間内は一緒にクラス編成をすることとしております。
二宮市長	3歳以上は、学校給食センターの提供する給食を摂ってもらう、0・1・2歳児は自園調理、こども園で作る給食を食べてもらうと、これは何に基づくものなのでしょうか。
藤田部長	少し補足をさせていただきます。保育所というのは基本的に0歳児から就学前の5歳児までをお預かりする、幼稚園は3・4・5歳児を預かるようになっています。保育所につきましては自園での調理が原則でございます。特別に外から取るとなると、特区でも取らないとできないので、大洲市では保育所の場合は全部自園調理が原則です。幼稚園については、学校給食センターのような自園調理でなくても大丈夫です。保育所と幼稚園が合体した認定こども園では、0・1・2歳児は自園調理が原則です。3・4・5歳児は委託が大丈夫ですので、今回大洲市は認定こども園化する時に、0・1・2歳児は自園調理のままで、3・4・5歳児の子どもについては学校給食を利用しようということでスタートさせてもらいました。ここに書いておりますのは、学校給食センターは、長期休暇中はお休みだったり、警報が出ればその日の給食提供はありませんので、そうなった時に認定こども園で3・4・5歳の子どもで、幼稚園籍の子どもは自園調理でそのまま作るんですけども、幼稚園の子ども分を作るだけのキ

二宮市長 藤田部長 二宮市長	ヤパを持っていないところもありますので、そこはお弁当を持ってきてもらったり、お休みをしていただいたりというのが現状です。その辺が今後の課題になっていると担当課では考えています。 自園調理は法律で定められているということですか。 そうです。 という状況であります。他に何かご意見あればお願いします。 動き出したところですので、そういった課題があって、現場も福祉事務所の方も大変苦労はしてくれているんですけども、どのようにすべきか、現場とも協議しながら方向付けをしていきたいと考えております。 他にご意見ないようでしたら、議題の括弧2に移らせていただきたいと思います。
二宮市長 二宮市長	(2) 大洲市教育大綱の一部修正 括弧2の大洲市教育大綱の一部修正についてを議題といたします。事務局より説明願います。 [資料に基づき説明] 久保課長 ただいま企画情報課長から説明がありました。この件について、ご意見ご質問はございませんでしょうか。 ないようでしたら次に進めさせていただきます。
二宮市長 久保課長 二宮市長 林田課長	(3) その他 議題の括弧3、その他なのですが、事務局から何か予定ございますか。 特にございません。 議題の1番からでも構いませんので、聞いておきたいことがあればお願いします。議題以外のことでもかまいませんので、部活のことでも構いませんし、教育の関係、文化スポーツの関係、何かありましたら、折角の機会ですですのでお願いいたします。 私から、子ども読書活動推進計画ですけれども、今の計画をつくってちょうど折り返し地点くらいに差し掛かっているかなと思うのですが、子どもの時に、例えば基本的な生活習慣、読書活動とか挨拶をするとか、習慣化するというのは非常に大事なことだと思っております。是非子どもたちには、読書の習慣づけをご家庭でも指導していただきたいと思っております。そういう意味でも、子ども読書活動推進計画の推進状況がどういう状況かもし分かれば、概要だけでも教えていただきたいと思います。 まず数字的なところですが、毎年不読率のアンケート調査を行っておりまして、その調査結果によりますと、小学生の目標を2.0パーセントに目標設定しているんですけども、平成30年度が1.8パーセント、令和元年度が3.1パーセントと、平成30年度は目標達成できている状況です。中学生のほうは、目標8.0パーセント、就学前は1.5パーセントとしているんですけども、中学生と就学前については両方とも目標達

成ができていない状況であります。それぞれの各組織におきまして、いろいろと取り組んでいただいております、その取り組み状況をご説明したいと思います。

まず、図書館におきましては、家族で一緒に本を読んで感想などを語り合っていて、「うちどく（家読）」の推進を行っております。10か月健診と連携して、保健センターとやっているんですけども、ブックスタート事業も行っております。またお話し会の開催であるとか、ボランティアによる読み聞かせを行っております、加えて学校図書教育主任会のほうにも参加をしまして、協力の呼びかけであったり、ボランティアの協力による、「うちどく（家読）」のお勧め本リストの作成、「わくわくサタデー」と題したお話し会や映画会などを開催しております。また、小中学校におきましては、図書だよりを発行しまして、「うちどく（家読）」図書の紹介であったり、朝読書を継続して行っております。

次に幼稚園につきましては、園から貸し出し本を持ち帰っていただくように指導してもらっておりまして、保護者が子どもに読み聞かせを行うことができる環境づくりを行っております。また、ボランティアに絵本の読み聞かせに来ていただくのですが、その読み聞かせに合わせて、ピアノの演奏を取り入れたり、子どもが楽しめる工夫なども行っています。また保育所におきましては、公民館で家庭教育学級を参観日に実施しております、「うちどく（家読）」の大切さを保護者に啓発したり、あるいは園便りで絵本の紹介や、読書の大切さを周知していただいております。また公民館におきましては、家庭教育学級を通して、「うちどく（家読）」の推進を行っております。

今ご紹介したのは、ほんの一部なんですけれども、こういったそれぞれの取り組み状況につきまして、年に一度大洲子ども読書活動推進委員会を開催しまして、その中でそれぞれの組織における進捗状況などについて検証しまして、翌年度に繋げていけるよう取り組みをしております。今後も市長さんおっしゃられたように、読書に親しむ習慣を確立するとともに、自主的に読書活動を行うことができるような、子どもや家庭、学校や地域社会に対する働きかけや環境づくりを推進したいと考えております。

二宮市長

データ的には目標に到達しているという報告でありました。

林田課長

すみません。小学生は平成30年度だけ達成していますが、中学生、就学前はまだ達成しておりません。

二宮市長

是非、目標年次には到達するようお願いしたいと思います。いろいろ活動いただいているのでありがたいと思うんですけども、小さい時に習慣づけることが一生涯続いていきますので、防災教育もそうだと思うんですが、子どもの時にきちんと習慣づける、身に着けることを徹底してお願いしたいと思います。

それともう1点なんです、私はスポーツ好きで今まで生きてきましたが、子どもさんの数がどんどん減少しています。出産適齢期の団塊の世代のお嬢様が、まもなく年齢が上がってくるといいます。子どもの数がこれから加速化して減っていくのではないかとされているのんですけども、特に市内の中学校も周辺部では生徒数が減って、部活動の部の数を絞らざるを得ないというのが顕著になっているのではないかと思います。生徒の皆さん、あるいは小学生もそうかもしれませんが、やってみたいと思うスポーツに親しむ機会が減ってきているのではないかと思います。けれども、例えば週末だけでも、スポーツ協会、総合型スポーツクラブと

	行政がタイアップして、自分がやりたいスポーツの種目にチャレンジできるような機会をつくることができないかと、以前から思っているんですけども、スポーツ推進計画を推進する観点からも、そういった試みはできないかなという夢は持っているんですが、担当課のほうで考えがあればお聞かせ願いたいと思います。
村上課長	ただ今の課題につきましては、昨年度策定しましたスポーツ推進計画の中においても、「切れ目ないスポーツ教育活動の支援」として取り組んでいくこととしております。まずは先進的な事例を調査するなどして、この課題を検討していきたいと考えております。 検討にあたりましては、中学校の部活動との関連がありますので、教育総務課のほうと連携協力して進めていきたいと考えております。
竹本指導監	付け加えまして、現状の中学校で言えば、大洲北中学校以外は選択肢が少ない、また専門の指導者がいないというのも現状となっております。ピアノとかダンスといったように、習い事が休日だけでもやりたいスポーツを行うシステムがあれば、入ってみようかという子どもも出てくるんじゃないかと考えております。ただ、送迎問題、現状を考えると時間に追われて余裕がない子どもたち、クラブ活動であれば学体に参加できない現状がありますので、このあたりが懸念されるところであります。現場からの声もしっかりと吸い上げていきたいと考えております。
二宮市長	大洲くらいのまちであればできるのではないかと考えています。選択肢を子どもたちに与えてあげるという意味で、是非検討を進めていただけたらと思います。これは私の希望ですので押し付けではございません。他にご意見等ございませんでしょうか。
西山委員	はじめの市長さんの挨拶の中に、まちづくりに是非女性の感性を生かしていきたいという、ありがたいお話がございましたが、例えば教育委員で、渡邊委員さんと私が女性で50パーセント、市の管理職の方が0パーセントというのが残念なところですね。いろんなところで、いろんな形で、女性が活躍出来たらいいなと思うんですけども、どのようにしていけばいいのかわからないので、アドバイスいただきたいと思います。
二宮市長	総合教育会議は、首長と教育長と教育委員で構成されるとなっております。幸い教育委員は男性がお二人、女性がお二人と、50パーセントが女性となっております。クオータ制度を取っている自治体も出始めているようです。外国のほうでは当たり前なのかもしれませんが進んでいるところは進んでいる、残念ながら大洲市役所では男女共同参画社会づくりに向けて取り組んではいますが、なかなか進んでいないという現状がございます。まずはやはり、そういうところから取り組んでいきたいと思います。また、女性の方も責任を持って意見も上げていただく公募をしていただきたいと、そういう社会づくりを進めていきたいと思います。そういったことを考える時代に来ていると感じています。いろいろなご意見ご提言があれば、直接、間接でもいただきたいと思います。女性会議で女性のご意見をどんどんいただききたいということで、去年が初めてだったのですが、行っております。できれば継続していきたいと考えております。
西山委員	コロナのことなのですが、大洲市の医療体制はどのような形になっているのでしょうか。ここで聞きしてもよろしいのでしょうか。

藤田部長	コロナ関係は愛媛県、保健所を中心に動かれます。PCR検査もそうですが、病院の先生が相談センターに連絡を取って受けるような形で、万が一陽性者が出ても、大洲市がタッチするところではありません。県内にコロナの対応をしてくれる中核医療機関が八幡浜・大洲圏域にもございますので、保健所の方が、病院名は公表されておられませんけれども、そこへ調整して、中核医療機関で入院、治療をしていただくということで、大洲市が直接関われる領域ではございませんけれども、今日、病床数は持ち合わせておりませんが、現在愛媛県内では、病院の病床と軽症者が宿泊できる道後のホテルも構えておりますので、今ひっ迫している状況ではなく、受け入れ体制もできておりますし、大洲市で発生しても、どこかで受け入れてもらえる状況でございます。
二宮市長	中村知事が常に言っておられますけれども、うつらないよう自己防衛、うつさないよう周りに配慮、こちらも習慣化して3密回避に心がけて、マスクの着用、手洗い、うがいの励行というように、瞬間ではなくて、やり続けることが大切だと思います。人がまた動き出しますので、経済活動も続けていくことが大切だと思います。他にございませんか。無いようでしたら、議事のほうは締めさせていただきます。 進行の方を事務局へお返しします。
	4 教育長あいさつ
	5 閉会